

衆議院議員
森田としかず ニュースレター**MORIMORI PRESS**October
10
総集編**TEL.048-530-6001**

www.morita-toshikazu.com

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日はお休み)
FAX.048-530-6002国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1003号室
TEL.03-3508-7419 FAX.03-3508-3899

Eメール mmo@morita-toshikazu.com

mori_morita

森田俊和

森田としかず

検索

**今よりも、もっと幸せな日本を創るため、森田は動く！**

私たちは誰でも幸せになりたいと思っています。しかし、どうすれば幸せになれるのかということを考えたり、学んだりする機会はあまりないのが現状です。

今まで日本は欧米諸国に「追い付き、追い越せ」と経済第一でやってきました。しかし、平成の始めに世界4位であった一人当たりのGDPは、現在26位にまで転落してしまい、人口も減少を始めています。一方で国と地方の借金は300兆円から1200兆円にまで膨れ上がり、かつての高度成長～バブル経済の勢いはすっかり消えてしまっています。こうした状況を打開するためには、私たちが厳しい現実を直視し、それぞれの置かれた立場で主体的に考え、行動することが必要です。

一人ひとりが主体性を持って、それぞれの意義ある目標に向

かって困難を乗り越えていくことで、私たちは本当の幸せを得ることができます。そういう人材が集まることで、結果的にそれぞれの企業や地域が成長し、ひいては日本全体が力強く成長していくはずです。人材を育成することは中長期的にあらゆる政策課題の改善につながるので、最も力を入れて取り組むべきであると認識しています。

今よりも、もっと幸せな日本を創るため、将来への展望を持ち、皆様と共に一歩ずつこの道を進んでいきたいと思います。引き続き、ご指導、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

衆議院議員 **森田俊和****コロナ禍の早期収束**

- 治療法(新薬・既存薬の転用)の早期確立
- 仮設療養施設・病院の確保
- 事業者・生活に困っている方への支援

日本の未来を創る！ 教育の拡充

- 意欲を持った人材の育成
- 豊かな人格を育む教育
- 特性を生かし、各々の持ち場で輝く人材を育成

未来に希望を持てる日本を創る

親の収入に左右されない教育機会の提供

あらゆる産業分野で活躍する人材を育成

農業の効率化支援

適時・適切な支援を実現

将来の感染症への備え

子育て支援

- 妊娠・出産の費用完全無償化
- 男性の育休取得支援
- 義務教育の給食・教材・活動費と、高等教育授業料を無償化

農業への支援

- 米価を支える政府の買取枠拡大
- 収入補償制度の拡充
- 田植え、稲刈り等、農作業の自動化支援

新産業の育成

- ICT、ロボットの研究開発・導入支援 (特に医療・介護・防災分野)
- 自動運転技術の導入支援で地方の移動の足確保、交通事故0へ！
- 高度医療・新薬開発への積極支援



平成30年6月内閣委員会

安倍総理大臣



平成30年11月内閣委員会

菅官房長官



令和元年11月財務金融委員会

麻生財務大臣



令和2年6月内閣委員会

西村経済再生担当大臣

皆様のお声を国政へ！ 4年間の任期中 国会にて計68回登壇！

これまで任期の通算で本会議、委員会にて計68回登壇しました(本会議4回、委員会64回、8月末現在)。地元の皆様からのお声を国政に伝え、皆様のご意見、ご要望に沿った政治を実現することが、私の最も大切な仕事だと考えています。国会で質問する際には、徹底した草の根主義で、地域を歩き、皆様から伺ったご意見を、総理や関係閣僚に直接お伝えしてきました。これからも、皆様の生のお声を国政に伝えてまいります！

なお、質問の様子は下記、衆議院のホームページからご覧いただけます。

<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>


埼玉12区(熊谷・行田・羽生・加須・川里)の未来像

埼玉県720万人、群馬県200万人の人口を擁する埼群経済圏の中心に位置するのが私たちの地域です。豊かな自然と首都圏の大消費地に近いという立地を生かし、これからも大いに発展していく余地がある地域であると考えます。これからも地域の皆様のお声を丁寧に伺い、地域の資産や特性を生かし、地域発展のために活動してまいります!



聖天様のご縁を生かし、埼玉三偉人、荻野吟子のふるさととして県北観光ルートの拠点として活性化します!



ワールドカップのレガシーを生かし、スポーツ文化公園周辺地域を一体的に開発。駅とのアクセス充実を図り、関係者、ファンが集い、憩い、楽しめる環境を目指します!



北陸新幹線の熊谷駅停車を目指します!令和元年に臨時停車した実績を生かします!



駅舎の建て替え、周辺も含めた再開発で、商業施設、行政機能、マンション、高齢者施設等、市街地の新たな拠点をつくります!



17号バイパス全通、首都高の桶川以北延伸により、産業立地としての価値を高めます!



利根新橋の建設により、利根大堰上の武蔵新橋の代替を図り、周辺橋梁の混雑緩和、群馬との経済交流を促進します!



さきたま古墳、足袋蔵など、歴史的、伝統的資産を生かした観光拠点として活性化します!



花を中心とした、農業、観光の拠点づくりを進めます!



東北道、122号、125号を生かし、流通をはじめとする商工業の拠点を目指します!



藍染を含めた、伝統的、現代的、両面での付加価値の高い繊維産業を支援します!

浚渫により河川の防災対策を強化

「中州ができて、木が茂ってしまっている」というご心配の声をしばしば伺います。利根川、荒川などの大河川を中心に河床の浚渫を行うことで、増水時にも円滑に水が流れるよう防災対策を進めます。

荒川(熊谷市久下地先)



利根川(加須市麦倉地先)



地域の「足」の確保



路線バスの低額バス、コミュニティバスやオンデマンドタクシーなど、特に高齢の方の移動手段を確保し、いつまでも暮らしやすい地域を目指します。



渡良瀬遊水地周辺を親水観光と防災観測拠点として整備



東武線直通運転の延伸により、「住みたい地域」としての魅力アップ!

駅頭・街頭活動

皆様からいただいたご支援にお応えすべく、定期的に国会や地域での活動についてご報告してきました。これからも駅頭や街頭など、皆様の身近なところにお伺いします!



モリモリプレスの発行

県議時代から発行してきたモリモリプレスは、私の活動や考えをお伝えする大切な手段です。通算63号となりました。これからも、国政報告はもちろん、地域での活動、地域の様々な動きをご紹介します!



座談会の開催

直接皆様からのお声を聴くことが、民主主義の基本です。これから日本を、もっと幸せな国にしていくには、どうすべきか、私の考えをお伝えし、また皆様からのご意見、ご要望を伺ってきました。最近では、集会所や自治会館に集まるのが難しいので、オンライン座談会も開催しております。



地域でのボランティア活動 ～皆様と共に汗をかく～

地域の皆様のお声は、いざ聴こうと思ってもなかなか聴けないものです。地域の中で、皆様と一緒に作業する中で、チラチラッと皆様の本音が聴けることがあります。そうして聴いた諸々のことが、私の政策の大きな柱となっています。これからも、皆様と共に汗をかき、お声を聴き、皆様のお声を国政に伝えてまいります!



メールマガジン 発行中!

国政や地元の話題などについて、皆様に情報をお届けいたします。お申し込みをお待ちしております!
お申し込みはこちらからお願いします▶



森田としかずプロフィール

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、熊谷高校、早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、早稲田大学大学院博士課程を経て、28歳で県議選初挑戦(23票差で次点)、県議2期を務めた後、平成24年衆議院議員選挙(55,663票で次点)、平成26年衆議院議員選挙(57,299票で次点)、平成29年衆議院議員選挙(86,007票で初当選)
幼少期……共働きの両親の下、おばあちゃん子として育つ。農協、養蚕連にお世話になった亡き祖父の面影があったのか、農協の支店に行くと、「ミニ組合長」と呼ばれる。保育園年少で、登園拒否を経験。無理に登園するも「おばあちゃんの植木のお手伝いをしないと!」と訴え、帰宅。

小・中学校……体育が苦手だが、長距離走に活路を見出す。6年生で運動会の入場行進で校旗を持ったことで、学校行事への貢献に目覚める。中学の生徒会長選挙で落選するも、生徒会役員として文化祭等に関わる。卒業式では昇降口の屋根に登り、サブライズの学年合唱を指揮。
高校・大学……高校では40kmハイクは毎年走る。男声合唱の音楽部ではバリトンに所属。大学のテニスサークルで妻と出会う。長期休暇は海外への貧乏旅行。初めての海外一人旅でホームシックにかかる。国内での自転車旅行、渋谷ハチ公前から歩いて富士山へ登ったことも。
大学院～政治の道へ……大学3年の時に石田教授(義弟が元三重県知事の北川正恭氏)と出会い、そのご縁で大学院へ。予備校講師をしながら博士課程に進む。カナダ・モントリオールへの留学を経て、学問よりも実践に魅力を感じるようになり、教授の勧めもあって政治の道へ。
県議～国政へ……大学院に籍を置きながら臨んだ県議選初戦に23票差で落選。浪人中に訪問介護事業所を立ち上げる。2度目の挑戦で県議に当選。2期目の途中で辞職。元々望んでいた国政へ挑戦。2度の挑戦は次点、3度目も次点だったが492票差で比例の議席をいただく。

【趣味】幼少期の高崎線沿いカメラ小僧～鉄道旅行～海外旅行。留学時、日本のことを語れなかったショックから茶道のお稽古を始め
【家族】妻・3人娘・ネコ2匹(チャコ♀・クルミ♀)
【日課】1日8000歩以上を目標に日常の中での歩き、または自転車。毎朝の洗濯、ゴミ分別～集積所へ、キッチン・洗面所の排水溝掃除、お風呂の鏡・壁面の拭き上げ。毎週1時間の「幸せ研修」に参加。

める。施設の行事ではものまねを披露。小学生から演歌カラオケ。

【家族】妻・3人娘・ネコ2匹(チャコ♀・クルミ♀)

